

芦北町立田浦中学校
ホームページ
校長ブログ『秘密の部屋』
平成30年10月号



3年生 うたせ船体験学習

【フューーージョン！】301001

午前中、台風のため今日に順延となった田浦小学校の運動会を参観しました。『みんなで力を出して 熱くなろう 思い出に残る最高の運動会』のスローガンのもと、競技に応援に燃えていました。

6年生の技巧走『恥ずかしかばってんね』では、子どもから保護者へ、大きな声でメッセージを伝えたあと、趣向を凝らしてゴールへ。中には『フュージョン（ドラゴンボール）』してゴールした父子もいて、会場を沸かせていました。

競技の最後には、6年生全員から担任のY先生への感謝のメッセージ、みんなでゴールしました。アナウンスによると、Y先生は涙をぼろぼろと落としていたとのこと。

今日は平成30年度の折り返しの日。6年生が入学する半年後が楽しみです。(H)

【アシスト王】301002

芦北町農林水産課と芦北町漁協には、郷土理解の取組として、毎年、田浦中・佐敷中・湯浦中の3年生を対象に『うたせ船漁業体験学習』を実施していただいています。

計石にある芦北漁協で、『天然塩づくり』と『魚さばき体験（三枚下ろしの予定が、四枚、五枚下ろしも見かけました。）』を行った後、さばいた魚をフライにして、船に乗り込みました。船では『太刀魚釣り』を行いましたが、私が乗り込んだ船はKさんが2匹、Tくんが1匹の合計3匹の釣果（ちょうか）でした。底引き網にはハモやエビ、青いカニ（ガザミ?）がかかっていました。

Kさんはかなり大きなヒラを惜しくも取り逃がしましたが、私たちの船では一人勝ちでした。Tくんによると「自分が餌をつけてやったから釣れた。」とのこと。掃除中も友達との会話が聞こえてきました。とても嬉しかったようです。(H)

【師弟対決】301003

廊下から、生徒と先生の大笑いが聞こえてきた。

近づいてみると、選手宣誓をすることになったRさんが、原稿の最初を『先生』と書いていたとのこと。先生に向かってするから『先生』と思っていたようだ。最初の言葉は呼びかけと思っていたのか。納得。

その時、他の先生から「それは『宣誓』よ、と笑いながら教えていた先生は『U.S.A.』の歌詞『カモンベイベーアメリカ』をずっと『カモンベイベーハモニカ』と口ずさんでいた。また『関（カン）ジャニ』も『セキジャニ』と読んでいた。」との情報が。

どっちもどっち、さらに大笑いする2人。

2人は同じ部活動の師弟である。納得。(H)

【上を向いてどこまでも】301004

今日、明日の2日間、有隣様、五松園様、ハートフルゆうあい様、どんぐりの家様、芦北整形外科様、千花様、グループホームあしきた様、むつみ荘様の8施設で3年生が福祉体験学習を行っています。各施設の皆様には大変お世話になります。

昨日は、各施設で入所者の皆さんに楽しんでいただくため、ゲームの準備や出し物の練習をしていました。男子のグループは、『上を向いて歩こう』を歌い、歌詞の中で『う』『お』が出てきたときにアクションをするという出し物の練習をしていました。職員室まで届くような大きな声で、とても楽しそうに。

満足いくまで仕上げたかったのでしょう。3分弱の曲を、飽きることなく繰り返し繰り返し1時間近く・・・。

1日たった今日も、私の頭の中で連続再生されています。(H)

【元気で 仲良く 最後まで】301005

今日、水俣市立総合体育館で芦北水俣郡市の特別支援学級小中合同ふれあい運動会が開催されました。「元気で」「仲良く」「最後まで」のスローガンのもと、「徒競走」「玉入れ」「ソーラン節」「リレー」などの競技にみんなが力いっぱい取り組み、楽しく1日を過ごすことができました。

交流学級のみんながつくった応援旗には「最後まで頑張り！」「走り抜け！」「Kくんならできる！」「限界突破！」等のメッセージがありました。K君は少し風邪気味だったのですが、たくさんの激励の言葉に励まされ、最後まで頑張り抜くことができました。

頑張り屋のKくんの今の目標は、剣道初段取得と英語検定突破です。(H)

【ダンゴムシ】301006

ダンゴムシのカプセルトイ（いわゆるガチャガチャ）が発売され人気を博している。何と本物のように丸くなる。オオグソクムシやイモムシ、害虫、爬虫類等、誰が買うんだというようなカプセルトイが発売されているがどれも大人気。ダンゴムシはすぐに売り切れるらしく、なかなか見かけない。発売が発表された時に、息子から「お父さん、買わんでね。」と釘を刺された。さすが息子、父のことが良く分かっている。

子どもが保育園児の頃、帰宅後に必ずしていたのは、全てのポケットをひっくり返し、ダンゴムシが入っていないかチェックすることだった。セミを大量に捕まえてきて、家の中で放したこともあった。母親の怒りに「子どものすることだから」とかばったのは父である。言うことで、子どもの言うことは聞かないことにしよう。

洗濯機 ぐるぐる回る ダンゴムシ (H)

【パッキアマラド】301007

困ったときは、陽気になるのが一番です。

「か」と「な」と「や」と「わ」と「2」と「5」と「8」のキーが打てーん♪

「a」と「b」と「c」と「j」と「k」と「l」と「t」のキーが打てーん♪

あぎゃん大事にしとったとに、壊れて出らん文字がある。

どぎゃんしょう、どぎゃんしょう♪

オーパッキアマラド、パッキアマラド、パオパオパパパ・・・♪

メールで打てない文字がある。誤作動で電話を掛ける。写真が撮影できない。アプリが勝手に開く等、本当に困りましたし、皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。

ウィルス対策ソフトはいつも更新していますが異常なし。と言うことで、4年目に入る愛着のあったスマホをついに替えることにしました。

昭和63年。初任として赴任することが決定した西合志南中学校に挨拶に伺ったとき、3月で退職されるという校長先生が「先生たちも大変なあ。これから学校にはパソコンちゅうやつが入ってくってね。自分は良か時に辞めた。」と言われました。私は、パソコンが入ると便利になって良いと思っていたのですが、校長先生の言いなるごつ。パソコンやスマホに働かされる毎日です。(H)

※パ（歩調・歩み）カマラッド（仲間） フランス語

【MS-07B】301008

今日は天候に恵まれ、絶好の試走日和でした。

6日（土）は台風が去った午後から実施。雨にも見舞われ、厳しい条件下での試走でした。晴天時プラス10秒の目標タイム達成とはいかず、悔しい試走となりました。

Y先生から、その際「後ろを追いかけて声掛けをしたい。」との要望があったため、今日は我が家の青いスーパーカブで会場に向かいました。湯の児から津奈木に向かうルートは道が整備され、気持ちよく走ることができました。「自転車とは違うのだよ、自転車とは。」そんな言葉が頭に浮かびました。

会場では、Y先生がスーパーカブに乗り、颯爽と伴走を行いました。ヘルメットのあごひもはギリギリでした。

途中途中にアドバイスができたので、今回の試走は光が見える出来とのこと。

私は生徒が張り切りすぎて、大会を前にパンクしないかととても心配でした・・・。

2周回ってY先生が帰って来ました・・・。

スーパーカブのタイヤがパンクしていました。(H)

【職場体験】301009

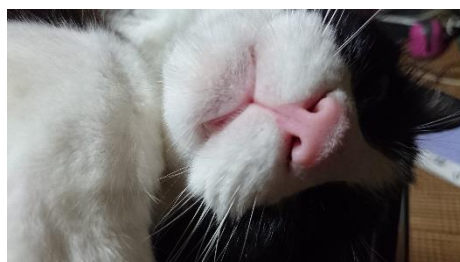
田浦中では1年生で職場訪問学習、2年生で職場体験学習、3年生で福祉体験学習の取組を行っています。今日は1年生の職場訪問でJAあしきた様と野坂の浦荘様に大変お世話になりました。地元の子どもたちのためにということで、詳しいプレゼンテーションと資料をご用意いただき、とてもありがたく思います。

野坂の浦荘は田浦保育園の園児との交流会をもたれており、その時のことを覚えている生徒も多くいました。

学習の成果は11月11日（日）の文化祭で発表します。皆様ぜひご来校ください。

朝夕、肌寒くなってきました。「寒いのは嫌だ。」「朝起きるのがつらくなる。」という人もいることでしょう。

私は「チャオちゅ〜る」をやるとき以外は呼んでも来ない猫たちに、「犬ならとうに来とるぞ。」と嘆く日々ですが、寒くなるに連れ、だんだん布団の近くで寝るようになってきました。中に入ってくる至福の季節はもうすぐです。どんな場合でも、何か楽しみは見つけれられるものですね。(H)



【夢を叶える】301010

田浦中の駐車場とバックネット裏にキンモクセイの木があります。枝を手折って校長室に飾りました。甘い香りが室内に満ちています。生徒は「校長室は良い香りがする。」と言ってくれます。「校長先生の加齢臭」と答えています。

今日は芦北町教育委員会の学校訪問でした。委員会の皆様から子どもたちの頑張りを高く評価いただきました。子どもの姿を誉めていただくと先生方のモチベーションが高まります。ありがとうございます。子どもの姿で勝負できる学校でありたいと思います。



生徒玄関の横に「夢」と書かれた大きな看板があります。これは今年8月末にお亡くなりになられた、本校第15代校長の叶貞夫校長先生が寄贈されたものです。子どもたちは毎朝その看板を見て校舎に入ります。私たちは、子ども達に夢を持たせ、その夢を叶えるための土台づくりに全力を尽くします。(H)

【はい！】301011

今日、つなぎ文化センターで、芦北水俣郡市の英語暗唱大会があり、田浦中からも4グループ13名が出場しました。緊張で「声が小さくなった」、「震えた」という感想も聞かれましたが、堂々と表現力豊かに発表することができました。

暗唱大会メンバーの一人Tくんは、「なつやすみ」がお題の「あいうえお作文」をこのように書きました。

な つやすみ毎日陸上
つ かれたな。けれど大会で結果を残して
や りきった感じがしたかったから
す すんで長距離に入って
み んなY先生に感謝



1年生の夏休みは宿題に追われ、良く叱られましたと語るTくん。今年は宿題も頑張り、長距離の練習にも毎日取り組みました。記録もぐんぐん伸びました。「頑張っているね。」と声を掛けると、とてもにこやかな表情で「はい！」と返事をします。

厳しい練習と叱咤激励激励に対して「感謝」と書けるTくん。努力の積み重ねが自信につながっています。(H)

【ダラダラ】301012

「チーズやチーズ味のお菓子をよく買うね。」妻から数年前に言われた。まったく自覚がなかった。そういえば家の冷蔵庫やお菓子箱にチーズ系の食べ物をよく見かける。私が買ったものだったのか。

「変わった味のジュースをよく買うね。」と言われた。少し自覚がある。言い訳は「授業のネタにもなるので、変わった物にはとりあえずチャレンジしてみたい。」ということにしている。「ドリアンサイダー」にはチャレンジの末、敗北した。

「餡（あん）物をよく買うね。」と言われた。ネコの名前も「おはぎ」にしたくらいだ。これは自覚がある。書きながら祖母がおはぎを「なかめしぐるりあん」と言っていたのを思い出した。フランス語の語感がある。引き出しにはコンビニの小さい羊羹を常備。支援員のM先生も羊羹仲間だ。

「同じ服や靴を色違いで持っているね。」と言われた。これには理由がある。体が割と大きいので、特に靴は気に入ったデザインでサイズが合う物を見つけた時が千載一遇のチャンスだ。

「今回のブログはダラダラだね。」と自分で言った。もちろん自覚がある。(H)

【響育】301013

昨日、学校評議員会を開きました。

後輩である田浦中生への思い、ご自身の中学生の頃の話、職業に関する考え方、今だから言える話など話題は尽きませんでした。山の中を抜けて、歩いて横居木まで遊びに行っていた話は懐かしかったですね。私も小学生の頃、友達4人で朝早くに山を越え、横居木の友達の家でゴレンジャーを見たことがありました。

総合的な学習の時間が始まったころは「棒踊り」「臼太鼓」等の郷土芸能に取り組んでいたこともあったそうです。地域の伝統を次世代にどうつないでいくか、苦心されていることも伺いました。

田浦中の教育は心が響き合う、「響育（きょういく）」であってほしい。評議員さん方の思いは地域の思い、職員の思いです。（H）

※本校の学校評議員は中野祐子様、宮本達也様、山田良介様、平賀博美様の4名です。

【パルプンテ】301014

ほとんどの人にはどうでもよいことですが、今日とはあるゲームの3周年の日でした。大学4年生の頃、実家に帰ったところ、2番目の弟が『ドラゴンクエストⅡ 悪霊の神々』のソフトを買っていました。ゲームはするためにある。一晩中戦いを続けました。

途中、復活の呪文を間違え、使った時間が無駄になることを繰り返しました。生徒がゲームに時間を取られてしまうのは良くわかります。ほどほどが大事です。

使えたら嬉しい呪文

寝坊した：ルーラ（過去に行ったことのある場所に瞬時に移動することができる。）

指名された：マホステ（受けた呪文を無効化する）

眠くなった：ザメハ（眠りを覚ます）

試合中：スクルト（守備力を上げる）・バイシオン（攻撃力を上げる）

疲れた時：ベホマズン（HPを完全回復する。）・

私達にすでにかけている呪文：パルプンテ（発動するまで何が起こるかわからない。）

ちなみに、ALTのB先生はFF派です。（H）

【ビーフ・ポーク】301015

昨日、芦北町の英国派遣事業報告会に行ってきました。それぞれがテーマを決めての発表で、伝える工夫が見受けられました。

派遣団は現地で「ヘイスティングズの戦い」の史跡を見学したそうです。日本では馴染みがないですが、イギリス人であれば全員年号まで言える、日本でいう関ヶ原の戦いのような感覚でしょうか。中学校の歴史では学習しませんが、簡単には「フランス貴族のノルマンディー公ギヨーム2世が、イングランドのハロルド2世を倒し、ウィリアム1世として即位してノルマン朝を開いた」という戦いです。

征服したフランス系の人たちは牛を「ビーフ」、豚を「ポーク」と呼んでいました。征服されたイングランドの人たちは牛を「カウ」、豚を「ピッグ」と呼んでいました。

ノルマン朝の頃から両方の言語の要素が融合し、現在の英語になっていったのですが、征服した側は食物の状態で見ると、牛肉は「ビーフ」、征服された側は育てる立場なので牛は「カウ」となったとのこと。「カウミート」、「ピッグミート」と言わないのはそんな理由らしいです。

余談ですが、アニメ「未来少年コナン」で、コナンの友達のジムシーが飼っていた豚の名前は「うまそう」です。(H)

【よい子しか乗れません】301016

昨日、出張から帰ると、自転車小屋付近で数名の女子生徒が空を見上げ、「ナイキだ！ナイキだ！」と声を上げていました。空にはナイキのマークのような雲が浮かんでいました。

雲は想像力を掻き立てます。

孫悟空は筋斗雲に乗って空を飛び回ります。

小1の教科書には『くじらぐも』という話がありました。

のび太さんとほぼ同級生（コミックスでは昭和39年8月7日生まれ）の私は、ドラえもんにも少し詳しいのですが、コミックスや映画には26種類の雲に関する秘密道具が登場するそうです。雲そのものをタイトルにした『のび太と雲の王国』には、かけると雲が柔らかく固まって、上を歩いたり、ほかの形にしたりすることができる『雲固めガス』が登場します。憧れの秘密道具の一つです。

理科の教科書には、「雲は水蒸気が空気中の小さなちりを凝結核として無数の細かい水滴や氷の粒となったもの」と書かれています。確かにそうですが、なんだか違うような気がします。(H)



【ノストラダムス】301017

家の冷蔵庫の野菜室を見ると、弱ってきたニンジン、キャベツがあった。そろそろ整理しないと。カゴにはジャガイモと玉ネギがある。ウィンナーも発見。寒くなってきたので、具材を大きく切って、しっかり煮込んで温まる料理を作ろう。

具材で検索するとシチュー、ポトフ、ミネストローネ等。

おおっ、トマトのホール缶もあった。ミネストローネに挑戦するか。

「牛乳が残っているから使って。」天の声。即シチューに変更。老後の人間関係に配慮したいつもの柔軟な対応。

翌日の給食はミネストローネ。具材はニンジン、キャベツ、ジャガイモ、玉ネギ、ウィンナー。

ピンゴ！シチューで正解。天の声の主は予知能力者か！（H）

【騙される】301018

意外に思われるかもしれないが、体育的な才能は遺伝しない（諸説あります）らしい。ただ、体型については遺伝的要素が強いし、スポーツ好きの親は、子どもに小さい頃からスポーツ的な遊びをさせる傾向にあるので、自然とスポーツに親しむ習慣ができ、体育的な才能が遺伝したように見えるらしい。



私自身、小さな頃は親と運動をして遊んだ記憶もないし、母が言うには、家の中のどこにいるのかわからないくらい静かに本を読んで過ごす子どもだったと言う。

足も遅く、運動がとにかく苦手だった。しかし、子どもは突然変わるもの。6年生の頃、体格に筋力が追い付いてきた。走るのも速くなった。高跳びの授業でとても良い記録が出て、先生に褒められた。（担任の室村先生は褒め上手で何度もだまされた。）ちょっと運動に興味に向いた。

中高ではバレーボールの試合に行くたびに、色々な学校の先生から声をかけていただいた。まただまされた。

何事も嫌だと思えばとことん嫌になっていく。好きだと思えばとことん好きになっていく。好きになるきっかけは人がつくってくれることも多い。

郡市駅伝大会女子準優勝、男子4位。駅伝メンバーの皆さん本当にご苦労様でした。もうしばらくの間、くまモン監督にあえてだまされ続けみてください。（H）

【テントウムシ小僧】301019

4～5才の頃だと思いますが、テントウムシをみつけるとなぜか指でつぶしていました。虫眼鏡で光を集めてアリをねらってまわったりもしました。犠牲にしたカタツムリも数知れません。ひどい子どもです。

ある日のこと、テレビで「テントウムシはアブラムシをたべる益虫」という番組を見ました。保育園児の頃のことなのに、「しまった。」「とても悪いことをしていた。」と思った瞬間を鮮明に覚えています。認めたくない若さ故の過ちです。

子どもは元来、残酷な面を持っているものです。しかし大抵の子どもはたくさんの大切な命を犠牲にして育ちながら、ある日突然、そうした行為の残酷さに自分自身で気づくそうです。

子どもたちは大切なものを失ったり、遊びのなかでケガをしたり、嫌な思いをしたりしながら、命の大切さや、痛みを体験的に学んでいきます。大切なのは人の思いを感じとることだと思います。(H)

【困ったものだ】301020

※10年ほど前に学級通信に書いた話です。

男の子は難しい・・・らしい。

言うことを聞かない、口答えをする、プリントを見せない、勉強をしない、マンガ本ばかり読んでいる、朝グズグズしている、お母さんをなめている・・・。

よくもこんなに気に入らないことがあるものだ。

で、最後は「お父さん、何か言ってよ!」となる。「自分で怒れ。」と言うが、「怒っても聞かない。」と返される。妻も反抗期。

子どもが中学生になったら「男の子の教育に母親が、女の子の教育に父親が口を出すのは間違い」という話を聞いた。同姓の親が先輩としてアドバイスをすることが大切だそう。

「男の子はわからない。」というが、こちらは一度通ってきた道、やることなすこと昔の自分を見ているようでおかしくてたまらない。口答えも子どもなりの理屈が通っていて愉快、愉快。

「何か言ってよ!」妻のさらなる要求。このくらいのことでと思いつつも、ここは老後の良好な人間関係を重視。

2人の息子も慣れたもの、「お母さんの許容範囲は超えているが、お父さんを（命に関わること、いじめに関わること、約束を守らないこと）を超えなければ大丈夫だ。」と知っている。本人だけが困ることについては、徹底して困らせるのも一つの手段ではと考える。

しかし、子どもたちは一向に困ったという気配がない・・・困ったものだ。(H)

※成長した今は違いますよ。

【少年】301021

今日、偶然に水俣二中時代の教え子、K くんに会いました。彼は中学 1 年生の歓迎遠足の時、執行部のレクリエーションの楽しさに「どうやったら執行部に入れますか？」と聞いてきました。私は「何にでも一所懸命頑張っていたら、きっとみんなから推されて、選挙で当選できるよ。」と答えました。

私は二中勤務の 8 年間+3 年間、正門付近の掃き掃除を毎朝続けていましたが、K くんが手伝いに来るようになりました。掃除をしながら好きな特撮や怪獣の話をして 1 日をスタートする日は 3 年間続きました。「将来は市役所に勤め、みんなの役に立ちたい。」そんな夢を語ってくれました。

良い仲間にも恵まれました。生徒会長としては、みんなを支える立場を忘れませんでした。卒業式の後、友だちと学校の掃除のために数日間登校したのには感心しました。

「昨日、パシフィックリムのカイジウをヤフオクで買いました。」夢叶って市役所に勤務する K くんは少年のままでした。(H)

【ニャルソック1】301022

家には、「おはぎ（黒）」と「ふわり（ハ割れ）」という 2 匹のネコがいます。

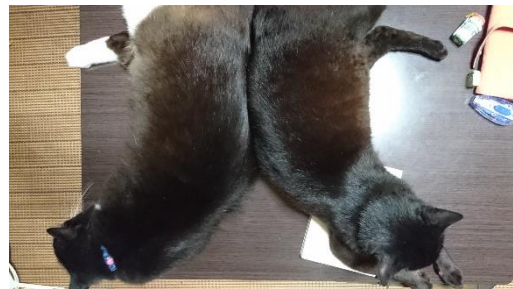
少し寒くなってきたので、息子が膝にブランケットをかけて座椅子に座っていると、「こたつだにゃあ！こたつだにゃあ！」という表情で、おはぎが潜り込んできました。しかし、すぐに「違うにゃあ！」という表情で出ていきました。しばらくすると、また「こたつだにゃあ！こたつだにゃあ！」と潜り込み、「違うにゃあ！」と出ていきました。

大変申し訳ございませんでした。早急にこたつを準備させていただきます。

夜になり寝ようとする、おはぎは布団の上に、ふわりは枕元にいます。飼い猫のオスは特に「赤ちゃんモード」になりやすく、親といるような安心した気分だそうです。

親モードで、無防備で寝ているでっかいネコを守っている気分にもなるそうです。お風呂に入っていると、ドアの外で待ち構えているのも「こいつは体が濡れるのに水に入って大丈夫かにゃあ」と心配しているからだそうです。

「ニャルソック」の皆様、今夜も警備よろしくをお願いします。(H)



【秋の田の】301023

今日は写生大会でした。曇り空から晴れ、そして雨。天候の変化に伴う風景の色味や空気の匂い等の変わり際を五感で受け止め、味わうことができたのではないかと思います。良い作品に仕上がるものと期待しています。

私は中一の写生大会で阿蘇神社を描きました。近くで描いていた先輩の、神社の屋根の反りを強調した、下から見上げた構図に圧倒されました。小学生の頃は、正面からの構図しか描いていなかったのも、強い印象が残りました。

人吉二中の頃は、人吉城が制作場所でした。折り返して続く石段、広い城跡にそよぐ風。『夏目友人帳』にも登場する独特の空気感がありました。写生大会の様子を見えない何かが見ているような気がしました。青井阿蘇神社も会場でしたが、赤い鳥居の連続は、ずっと見つめていると引き込まれるような気持ちになりました。

水俣二中の頃は、丸島漁港が人気の制作場所でした。海風にあおられ、画用紙を海に飛ばしてしまう生徒が出るのがお約束でした。出発前に、ある生徒のバッグが匂うので開けさせたところ、中から伸び縮みする釣り竿と、匂いの正体『撒き餌』が出てきました。釣り大会と勘違いしていたようです。

多くの生徒は高校を卒業すると田浦を離れます。秋の田浦の風景を記憶にとどめることができたでしょうか。(H)



【ニャルソック2】301024

近所に、我が家では「シロ」と呼んでいる「※おどっばす」のネコがいます。

「白」は自然界では目立ち、敵から狙われやすいので、警戒心が強く気の荒い性格が多いそうです。「黒」は目立たないので、穏やかな性格が多いそうです。我が家のおはぎもとても穏やか、ふわりは野良ネコだった子猫時代頃から人懐っこく、家では常に「ヘソ天（ヘソを天井に向けて寝る、警戒心の全くない姿。野生では一番の弱点である腹をさらけ出すことはほとんどない。）」状態です。そんなおはぎとふわりは、いつもシロから虐められています。どうもシロは我が家を縄張りだと思っているようです。最近は、おはぎもふわりも遠出をしなくなりました。

先日、帰宅すると急におはぎとふわりの激しいうなり声が聞こえ始めました。姿は見えません。声を掛けながら探すと、シロが玄関から逃げていきました。ふわりは隠れていました。

ははぁ。私が帰宅して、急に強気になったな。

座椅子を見るとびっしょり……。ふわりがビビって漏らしていたようです。

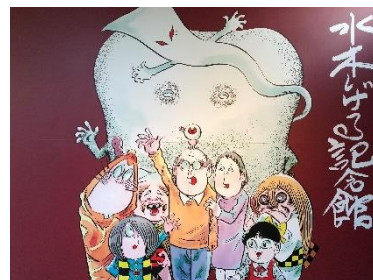
ニャルソック。引退します。(H)

※「おどっばす」意地の悪い

【ゲゲゲのゲ】301025

全日本中学校長会研究協議会に参加するため、鳥取県米子市にいます。ここから15kmほど離れた境港市は『ゲゲゲの鬼太郎』の作者である水木しげる氏の出身地です。

水木氏によると、特定の場所に出るのがお化け（妖怪）で、あちこち移動できるのが幽霊であるという。つまりお化けは土地に憑き、幽霊は人に憑くということ。



「Hはレベルが上がった。」「Hは靈感を手に入れた。」「Hは田浦中のあちらこちらに気配を感じた。」「Hはレイミエルを唱えた。」見える見える。ウヨウヨしている。

ここには「自分くらいよかたあ〜い」お化けが、そこには「勉強面倒くせえ〜」お化けが。向こうには「きつかあ〜」「眠かあ〜」お化けが。最近「ネットゲームばせんと頭ん痛かあ〜」「ラインば返さんばいかあ〜ん」お化けが大発生。こいつがラスボスか！



早速お祓いを試みる。やりとり帳、学び合い、スマイル集会、全校遊び、楽しい掲示物等々……。弱いお化けは次々に去っていく。

ムムッ！まだ残っているお化けも多い。まさか、『オバケのQ太郎』のような友達になるお化けか？これでは打つ手がない。

待てよ。お化けは土地に憑く。ということは・・・家に帰ればバッチリだ……。

何っ！憑いているのは幽霊の方だって！

「ゲームオーバー」「コンティニューしますか？」(H)

【気になります】301026

鳥取県の花は「二十世紀梨の花」、県の鳥は「オシドリ」、県の魚は「ヒラメ」、県の木は「ダイセンキャラボク」。ちなみに熊本県は「リンドウ」「ヒバリ」「クルマエビ」「クスノキ」です。

ところで、鳥取と呼ばれるようになったのはなぜでしょう。いろいろ調べてみると、「古代に、魂を運ぶ鳥として珍重されていたオオハクチョウを捕まえて暮らしていた人たちが、『鳥取部（ととりべ）』として大和政権の支配下に置かれ、この地が『鳥取』と呼ばれるようになった。」と書かれた資料がありました。

また、『和名類聚抄（平安時代中期）』には、「肥後国合志郡鳥取郷」という記述があり、今では正確な位置は分かりませんが、熊本県にも鳥取と言う地名があったそうです。

県名テストで多い間違いは『取鳥』

そう、逆です。由来を知ったので、たぶん次から全員正解です。

アクアドームに向かう途中の熊本市南区には畠口（はたぐち）町という地名があります。以前からとても気になっています。(H)

【ネタ本はありません】301027

全日本中学校長会研究協議会の記念講演の講師は、アウトドア用品の総合メーカー、株式会社モンベルの創業者である辰野勇さんでした。

辰野さんは、高校1年生の時に現代国語の教科書に載っていた『白い蜘蛛』（「死の壁」と呼ばれていたアイガー北壁からの登頂に世界で初めて成功したハインリッヒ・ハラーの記録）を読み、「アイガーの北壁からの登頂に日本人として初めて成功すること」「登山を生業にすること」という2つの夢を描いたそうです。

辰野さんは、21歳の時、世界最年少でアイガー北壁からの登頂に成功します。

「人はなぜこんなバカなことをやるんだろう。」という問いに対し、ミシガン大学の先生は・・・。

もっと詳しく書きたいところですが…。昨日、『チコちゃんに叱られる！』という番組で、「校長先生の話が長いのはなぜ？」という問いに対して「ネタ本があるから。」という答えが出ていました。私の話にはネタ本がないので、続きは式辞用にとっておきたいと思います。

(H)

※アイガーは標高3975m、北壁は1800mの絶壁。スカイツリーを3つ重ねた高さを垂直に登るようなものだそうです。

【びっくりした】301028

昨日、久しぶりに水俣二中の元PTA役員の皆さんとの懇親会がありました。私と高校の同級生でもあるお母さんから、子どもさんの入学式直後の話を聞きました。

子どもさんは、英語の教科係として、最初の授業の前に担当の先生を呼びに行ったそうです。そこで、「教頭先生は洋風の顔なので、英語の担当に違いない。」と考え、職員室で私を待っていたそうです。

私がいつまでも職員室に帰ってこないで「英語の先生はいませんか？」と聞くと、英語担当者は近くに座っていた別の先生で、「普通の顔なのでびっくりした。」という話でした。

名前を出さないという約束で載せた、本人には秘密の話です。ちなみに、子どもさんの雰囲気は私の知る高校時代のお母さんそっくりです。(H)

【KT】301029

朝夕、各学級から合唱コンクールに向けての歌声が聞こえてきます。学校に勤務して良かったと感じる贅沢な季節です。

ベテランの先生方に話を聞いてみると、いわゆる学級経営がうまくいったと感じるクラスの共通点に『大きな声で歌えるクラス』を挙げる方が多く見受けられます。

上手、下手に関わりなく、恥ずかしがらずに歌で自分を表現できるクラスには、普段から学級の中に友達の失敗やうまくいかなかったことを励ます空気、多様な考えを受け入れる空気、友達の頑張りや活躍を自分の事のように称賛できる空気があります。空気は誰かがつくってくれるものではありません。

空気を『読む』は消極的な関り。空気を『つくる』友達への積極的な関りを期待しています。(H)

【やくそくまもれたモン】301030

今日、県立美術館から学芸員をお招きして、スクールミュージアムを開催しました。武道場に浜田知明（ちめい）氏の『初年兵哀歌』を中心にした16点と原版、マルク・シャガール氏の版画集『サーカス』から16点が展示されました。

説明によると、今年7月に100歳で亡くなられた浜田氏は、御船町出身の日本を代表する版画家です。戦争でのつらい体験やや平和を願う思いを版画に表現しています。

また、ロシアで生まれたシャガール氏は、子どもの頃の思い出をもとに、さまざまなサーカスの場面に、亡くなった妻との思い出や、遠い故郷の風景など、自身の思い出を織り交ぜながら、版画に美しく表現しています。

途中、武道館に入って驚きました。あまりの静かさに、誰もいないのかと思ったら3年1組の授業中でした。熊本県立美術館のやくそく「さわらないモン はしらないモン さわがないモン」がきちんと守られていました。(H)



【ボクかりんとう】 301031

ハロウィンが終わり、校長室前の『コップのフチ子』のディスプレイを片付けました。次は12月のクリスマスバージョンです。出番待ちのフィギュアは事務室に保管しているのですが、事務室はすでに子供たちの手にかかり、正月展示予定の『招き猫』が飾られています。

ところで、ハロウィンは、もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す、古代ケルト人が起源の祭り。私がハロウィンを知ったのは、子どもの頃に見たスヌーピーのアニメで、子どもたちが家々を廻り、いろいろなお菓子をもらうのですが、チャーリー・ブラウンだけはどこの家からも「かりんとう」しかもらえないというオチでした。「ボクかりんとう」チャーリーの繰り返されるセリフが耳に残っています。

この時期は毎年のように「ハロウィンで大騒ぎして散らかす大人、それを翌朝片づける子供たち」のニュースを見ます。とても残念な気持ちになります。子どもの頃は「大人のくせにおかしい！」と怒っていたはずなんですけどね。(H)

